

広島アクターズラボから生まれた

五色劇場

試演会②

しんへいわ

「新平和」

作・演出・構成

柳沼昭徳（鳥丸ストロークロック）

出演・スタッフ

落合晶子 坂田光平 中島山美子 深海哲哉
藤井友紀 森岡梨乃 山田あい（五十音派）

プロデューサー

岩崎きえ（舞台芸術制作室 無色透明）

【新平和について】

原在平和記念公園となっている場所は、原爆投下直、広島地区と呼ばれ、映画館や旅館、問屋などが建ち並ぶ繁華街でした。その詳細は被爆地に生まれ育っている僕々でも知らないことが多いように思います。

しかしそこにも確かに「日常」があり、そこに生きた人々がいました。そしてあの公園の下には今でも多くのその町の人たちの亡骸が眠っています。失われゆく歴史の伝承は、文化の為すべき仕事のひとつであると考えます。

しかし、歴史の大きな流れの下ではどうしても埋もれてしまう小さな出来事、それぞれの哀しみが残ります。私達の行う「演劇」は、日常や時代の流れの中に埋もれてしまいがちになるひとかけらを、注視し、描写し、舞台の上から客席に語りかけ、語り合う作業の積み重ねです。

去年に引き続き、その手法を以て原爆、戦争、そして人間を推したいと考え、そのひとかけらかもしれない「消えてしまった町」に焦点をあてました。俳優各々が資料調査を行い、あの日を境に起こった出来事を等身大で演じることで、ヒロシマを伝承していく方法を模索できればと思い、この作品を創りました。

【柳沼昭徳プロフィール】

1976年京都市生まれ。劇作家・演出家。鳥丸ストロークロック代表。近畿大学在学中の1999年に「鳥丸ストロークロック」を旗揚げ、社会の抱える不全と、それが及ぼす人々への影響を描く、近年は各地で演劇ワークショップや市民参加型の創作も多く手がけている。

2013年よりSPO 法人京都府総合芸術協会の理事をつとめ、京都の総合芸術振興の向上に力を注ぐ。広島では2016年度より地元プロデューサーと協同し「アクターズラボ」を運営。また同年度、NPO法人ひまわりの環に主催による「広島に集まった仲間たちによる新築公演・ウタとシタの人助け」（厚生労働省平成29年度障害者芸術文化活動普及支援事業）の脚本執筆を手助け、大きな反響を呼んだ。

第60回日本演劇賞ノミネート／OMS 戯曲賞ノミネート多数
平成28年度東京都芸術新人賞受賞

2018年

6月8日(金) 19:30

6月9日(土) 13:00 / 19:30

6月10日(日) 13:00 / 16:00

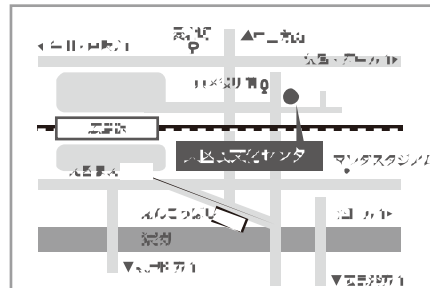
開場は30分前

【会場】

広島市東区民文化センター スタジオ2

〒732-0055 広島市東区東壱屋町 10-31

TEL 082-264-5551



アクセス

JR 広島駅新幹線口より徒歩東へ約900m
「東区役所・区民文化センター前」バス停下車、道幅向い

【チケット】

一般 前売 1,500円 / 当日 2,000円
25歳以下 前売 1,000円 / 当日 1,500円
高校生以下 前売 500円 / 当日 1,000円

【取り扱い】

- ・舞台芸術制作室 無色透明 チケット申し込みフォーム
<https://musyoku-toumei.jimdo.com/>
- ・広島市東区民文化センター窓口・ホームページ
(9:00~21:00 祝日を除く月曜休館)
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/higashi-cs/>

【お問合せ】

舞台芸術制作室 無色透明
a.p.musyokutoumei@gmail.com

主催/舞台芸術制作室 無色透明 広島市東区民文化センター

協賛/鳥丸ストロークロック 妻梨川 ームたんたん

NPO法人子どもコミュニケーションひろしま アートプロジェクト（実行）

後援 広島市教育委員会 中国放送 中国放送 広島テレビ

広島ホームテレビ テレビ新広島 広島エフエム放送 広島FM ひろしま FM らびービー 76.6MHz

芸術文化振興基金助成事業



広島アクターズラボと 「五色劇場」について

2016年6月より舞台芸術制作室 無色透明の主催事業としてスタートした。広島で継続的に演劇について研究・ディスカッションとワークショップを行うことを目的としている。京都より柳沼昭徳氏を講師として、毎月2日の計画による懇話会とそれに伴うワークショップを不定期で行っている。宗像を鑑み、心技の備わった俳優を求めたために集ったメンバーが、公演を行うに際し編成した劇団が「五色劇場」である。